

2019年度 学校図書館ガイドラインを踏まえた学校図書館の利活用に係る調査研究

事業実施報告書

推進地域における取組

推進地域名：船橋市

1 推進地域における協力校の概要

学校名	児童・生徒数	学級数 (特支)	司書教諭の発令の有無	学校司書の数	図書整備の状況	
					蔵書数	整備率%
船橋市立高根台第二小学校	407名	12学級 (5)	有	1名	9,127冊	95.5%
船橋市立高根台中学校	288名	9学級 (3)	有	1名	13,396冊	113.6%

2 推進地域におけるこれまでの取組と現状の課題

【推進地域内の協力校における、学校図書館に関するこれまでの活動】

①学校図書館の利活用と読書活動の推進について

- 本市で行っている全小・中学校の学校図書館での貸出冊数を伸ばそうとする「めざせ!! ○○万冊」の取組において、貸出冊数を伸ばしている。

	高根台第二小学校	高根台中学校	船橋市
平成29年度の一人当たりの貸出冊数	88.9冊	17.2冊	(小) 104.1冊 (中) 12.5冊
平成30年度の一人当たりの貸出冊数	97.3冊	18.4冊	(小) 107.4冊 (中) 12.9冊

平成29年度 「めざせ!! 360万冊」 市の実績3,689,527冊

平成30年度 「めざせ!! 370万冊」 市の実績3,835,123冊

令和元年度目標 「めざせ!! 400万冊」

- 市内共通の読書紹介カード「本の虫」を活用し、学校全体で読書活動の推進に取り組んでいる。
- 学校図書館の掲示物等を工夫して児童生徒が利用しやすい環境づくりに努めている。

②学校図書館の運営について

- 学校図書館運営計画に基づき、図書主任を中心として、教職員が共通理解のもと計画的に学校図書館を運営している。

③学校図書館に携わる教職員等の資質向上について

- 年2回の図書主任研修会、年4回の学校司書研修会、年1回の図書主任及び学校司書研修会を通し、学校図書館の利活用について研修を深めている。また、学校司書は研修の

成果や日常の活動について「学校司書研修報告」にまとめ、他校の成果等について共有している。

- ・教諭と学校司書との協働による学校図書館を活用した授業を行っている。

④公共図書館との連携について

- ・図書物流システムを活用して公共図書館にある本を借り受けたり、図書主任研修会及び学校司書研修会を通して公共図書館の企画や蔵書に関する情報を得たりするなど、公共図書館との連携を図っている。
- ・指導課が主催する全ての学校司書研修会及び図書主任研修会に、船橋市の公共図書館4館の児童室担当者が参加している。その中で、児童室担当者が行っている公共図書館の取組のインフォメーションや実技研修等の内容を、自校の学校図書館利活用に反映している。
- ・中高生の読書活動を推進するため公共図書館が中高生を対象として発行している「YAだより」を活用し、中学校における選書の参考にしている。

⑤学校図書館の蔵書整備のための市の予算について（船橋市教育委員会の取組として）

- ・文部科学省の定める「学校図書館図書標準」を維持するため、学級増による不足分を補うための予算を確保している。

【学校図書館図書整備費：指導課予算】

	平成30年度	令和元年度
小学校費	5,304千円	4,767千円
中学校費	2,128千円	3,289千円

【学校における課題】

- ・学校図書館運営計画に各教科の授業における学校図書館利活用状況を反映させること。
- ・国語以外の教科で、学校司書との協働による学校図書館を活用した授業を行うこと。
- ・司書教諭、図書主任を中心に、教諭と学校司書との連携を強化すること。
- ・児童生徒の選書の幅を広げるためのレファレンスを工夫すること。
- ・家庭における読書の時間を確保すること。
- ・ボランティアを活用し、学校図書館の環境を整備したり児童生徒の読書活動を推進したりすること。

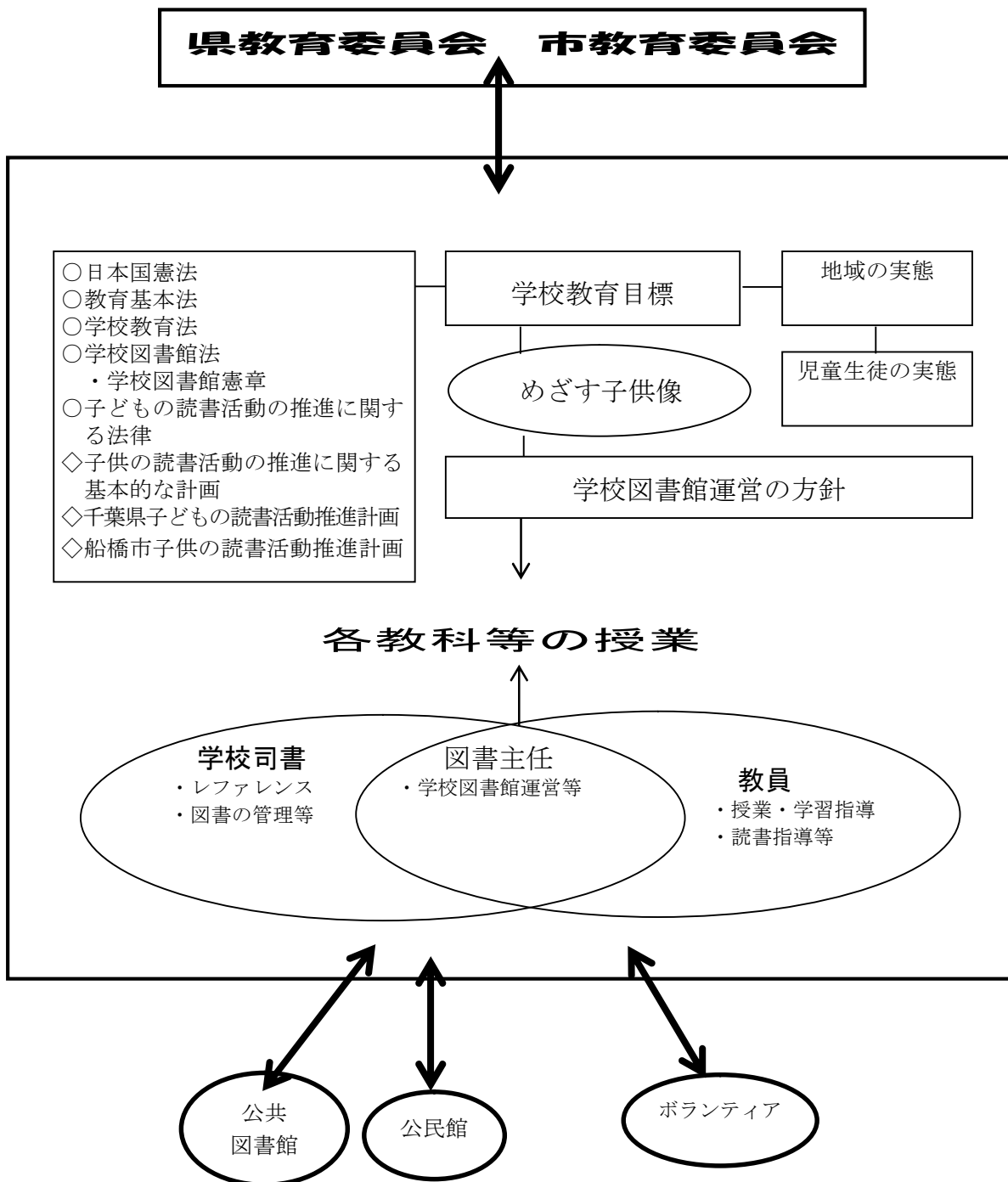
3 研究内容

（1）学校図書館司書の効果的な活用による学校図書館の活動の活性化の目標

- ①本市で行っている全小・中学校の学校図書館での総貸出冊数を伸ばそうとする「めざせ!! ○○万冊」の取組を軸に、各学校段階における読書活動の推進を強化する。
- ②各教科を横断的に捉えた学校図書館運営計画を作成し、各教科において学校図書館を活用した授業を実践することで、カリキュラム・マネジメントの視点に立った学校教育目標の具現化を図る。
- ③司書教諭と学校司書との連携を強化し、学校図書館を活用した授業を構築する。
- ④授業での成果物を展示したり単元に関連する特設コーナーを設置したりして学校図書館の環境を整備し、児童生徒の学校図書館の利用率を上げる。

(2) 調査研究の実施に当たっての学校図書館の活用に関する体制等

① 学校図書館の活用に関する校内体制及び学校図書館司書の役割・機能



② 司書教諭について

・小学校について

市内小学校 54 校のうち、12 学級以上の学校 50 校全てで司書教諭を発令。

11 学級以下の 4 校のうち、司書教諭が発令されている学校 3 校、発令されていない学校 1 校。

・中学校について

市内中学校 27 校のうち、12 学級以上の学校 18 校の全てで司書教諭を発令。

11 学級以下の 9 校のうち、司書教諭が発令されている学校 7 校、発令されていない学校 2 校。

③ 配置した学校図書館司書について

- ・平成 28 年 4 月、市内全小・中・特別支援学校に学校司書を配置。
- ・市内小学校 54 校の内、7 校に常勤を各 1 名、48 校に非常勤を各 1 名配置。
(常勤と非常勤が各 1 名配置されている学校が 1 校。)
- ・市内中学校 27 校に非常勤を各 1 名配置。

<高根台第二小学校>

- ・人数：1 名
- ・常勤・非常勤の別：非常勤
- ・週当たりの勤務日数：5 日
- ・1 日当たりの勤務時間数：実働 5 時間

<高根台中学校>

- ・人数：1 名
- ・常勤・非常勤の別：非常勤
- ・週当たりの勤務日数：5 日
- ・1 日当たりの勤務時間数：実働 5 時間

④ その他

- ・教育委員会主催の研修会として、図書主任研修会を年 2 回、学校司書研修会を年 4 回、図書主任及び学校司書研修会を年 1 回開催し、図書主任及び学校司書の資質向上を図っている。

(3) 学校図書館の活動の活性化のための具体的な活動内容

(実施結果)

日時	内容	備考	学校図書館司書及び司書教諭等の関わり・役割
4月26日 (金)	○第1回学校司書研修会(指導課主催) 市内全小・中・特別支援学校学校司書打合せ及び研修。	参加者 88 名 (各校に配置する学校司書 83 名、市内公共図書館 4 名、市教委 1 名)	本事業の趣旨を理解し、各校でも学校図書館の利活用について積極的に取り組み、実践を紹介することを共通理解した。
5月14日 (火)	○第1回図書主任研修会 市内全小・中・特別支援学校図書主任打合せ及び研修。本年度の学校図書館運営について。	参加者 88 名 (各校に配置する学校司書 83 名、市内公共図書館 4 名、市教委 1 名)	本事業の趣旨を理解し、各校でも学校図書館の利活用について積極的に取り組み、実践を紹介することを共通理解した。
5月29日 (水)	○事業委員会 学校司書および司書教諭の専門性を生かした読書活動や学校図書館の利活用の在り方等について講演や研究協議を行うとともに専門的な立場からの助言等を得ながら研究の進め方等を検討する。	参加者 3 名 (高根台第二小及び高根台中各 1 名、市教委 1 名) 県担当者 県総合教育センター	事業委員会の参加者は、本会議で協議し助言されたことを各校の学校司書に伝達し共通理解を図った。
5月30日 (木)	○小中合同実技研修会 市内図書館児童室担当職員を講師に招き、高根台中・高根台第二小の教員合同でブックトーク実践講座を実施する。	協力校教諭 20 名・学校司書 2 名・市教委 1 名	ブックトークの方法について実践的に学び、日頃の学校図書館運営や公開研究会に向けての授業作りに生かした。

7月2日 (火)	○船橋市国語力向上推進委員会 研究に向けての準備。資料の提供について。	市内校長・教頭・教諭・学校司書・市立図書館職員 の代表による委員会	本事業の趣旨を説明し、各校での取組と実践紹介等の協力を依頼した。
7月11日 (木) ・7月18日 (木)	○高根台第二小学校事前授業 中・高学年で、学校図書館を活用した授業実践を行う。	高根台第二小、高根台中職員・講師1名、市教委1名	学校図書館を活用した授業にT2として関わり、講師から指導を受けた。
8月28日 (水)	○第2回学校司書研修会(指導課主催) 市内全小・中・特別支援学校学校司書研修。研究に向けての準備。資料の提供について。	参加者88名 (各校に配置する学校司書83名、市内公共図書館4名、市教委1名)	学校における学校司書の役割や資質・能力について研修を受け、学校図書館運営に生かした。
9月5日 (木)	○船橋市国語力向上推進委員会 研究に向けての準備。資料の提供について。	市内校長・教頭・教諭・学校司書・市立図書館職員 の代表による委員会	本事業の趣旨を説明し、各校での取組と実践紹介等の協力を依頼した。
9月26日 (木)	○高根台第二小学校事前授業 低学年で、学校図書館を活用した授業実践を行う。	高根台第二小、高根台中職員 葛南教育事務所1名、市教委1名	学校図書館を活用した授業にT2として関わり、講師から指導を受けた。
10月23日 (水) ※千教研船橋支会開催日	○公開授業及び全体会 会場:高根台第二小学校及び高根台中学校	参加者約300名 (県研究協力校担当者・船橋支会国語部会・図書館部会部員他) 講師1名	学校図書館を活用した授業にT2として関わり、講師から指導を受けた。
10月24日 (木)	○中学校図書館主任及び学校司書合同研修会 学校司書との協働による学校図書館を活用した授業の在り方について。	参加者66名 (中学校図書館主任・学校司書34名、市内公共図書館4名、市教委1名)	本事業に係る市内全体や協力校の取組の報告を聞き、各校の教育活動に生かすようにした。
11月26日 (火)	○小・特別支援学校図書館主任及び学校司書合同研修会 学校司書との協働による学校図書館を活用した授業の在り方について。	参加者114名 (各小・特別支援学校司書教諭・学校司書計109名、市内公共図書館5名、市教委1名)	本事業に係る市内全体や協力校の取組の報告を聞き、各校の教育活動に生かすようにした。
1月28日 (火)	○第2回図書主任研修会 学校図書館を活用した読書活動についてのワークショップ	参加者88名 (各校に配置する学校司書83名、市内公共図書館4名、市教委1名)	聞き手参加型の読み聞かせについて実践的に学び、日頃の教育活動に生かすようにした。

4 調査研究の成果と課題

<船橋市立高根台中学校>

(1) 学校図書館の活用に関する校内体制

3-(1) 学校図書館司書の効果的な活用による学校図書館の活動の活性化の目標

- ①本市で行っている全小・中学校の学校図書館での総貸出冊数を伸ばそうとする「めざせ!!〇〇万冊」の取組を軸に、各学校段階における読書活動の推進を強化する。
- ②各教科を横断的に捉えた学校図書館運営計画を作成し、各教科において学校図書館を活用した授業を実践することで、カリキュラム・マネジメントの視点に立った学校教育目標の具現化を図る。
- ③司書教諭と学校司書との連携を強化し、学校図書館を活用した授業を構築する。

◎成果

- ・今年度、国語のブックトークやビブリオバトルをはじめ、理科・美術・家庭科などの授業を学校図書館へ行ったり学校図書館の資料を使ったりした。「一人一冊を授業までに準備すること。」という指示があると、生徒が続々と学校図書館に集まった。教科横断的に図書を活用する授業を行うことで、学校図書館に足を運ぶ生徒が増えた。
- ・1年生の春に、国語の授業で学校図書館オリエンテーションをおこなっているが、その後、友人とおしゃべりついでに学校図書館に寄ってみたり友人から本をおすすめされたりする生徒は、本がバトンとなって定期的に学校図書館に足を運ぶようになった。生徒の中には、清掃場所が学校図書館だったことがきっかけで本を借りていく生徒も増えた。

◎課題

- ・授業で学んだことを、より深めたりより広げたりするために本を借りにくる生徒はまだまだ少ない。学校図書館を活用した授業を実践していくことで、自分では手に取らないような分野の本を生徒が知ることができると考える。
- ・授業以外にも学校図書館に足を運ぶ「きっかけ」づくりをしていきたい。

(2) 学校図書館司書の役割・機能

3-(1) 学校図書館司書の効果的な活用による学校図書館の活動の活性化の目標

- ④授業での成果物を展示したり単元に関連する特設コーナーを設置したりして学校図書館の環境を整備し、児童生徒の学校図書館の利用率を上げる。

◎成果

- ・学校司書が、時事に関連した本を学校図書館前の廊下に展示したり授業内容に関連した本をまとめて書架に並べたりした。学校図書館と同じ階のフロアに教室のある1・2年生は時折足を止めて、飾ってある本に触れる様子が見られた。

(3) 学校図書館司書が有する資格・経験、資質・能力

3-(1) 学校図書館司書の効果的な活用による学校図書館の活動の活性化の目標

- ①本市で行っている全小・中学校の学校図書館での総貸出冊数を伸ばそうとする「めざせ!!〇〇万冊」の取組を軸に、各学校段階における読書活動の推進を強化する。
- ②各教科を横断的に捉えた学校図書館運営計画を作成し、各教科において学校図書館を活用した授業を実践することで、カリキュラム・マネジメントの視点に立った学校教育目標の具現化を図る。
- ③司書教諭と学校司書との連携を強化し、学校図書館を活用した授業を構築する。
- ④授業での成果物を展示したり単元に関連する特設コーナーを設置したりして学校図書館の環境を整備し、児童生徒の学校図書館の利用率を上げる。

◎成果

- ・公開授業に向けてブックトーク実践講座を行い、教諭だけでなく学校司書も参加して研修を行い、資質・能力の向上を図ることができた。
- ・学校司書や司書教諭は、教育委員会主催の研修会に参加することで、総貸出冊数を伸ばす取組や教科横断的な運営計画作成、学校図書館の展示方法等について学び、実際の場に生かすことができた。

(4) 学校図書館の活動の活性化のための具体的な活動

3-(1) 学校図書館司書の効果的な活用による学校図書館の活動の活性化の目標

- ③司書教諭と学校司書との連携を強化し、学校図書館を活用した授業を構築する。

◎成果

- ・5月に小学4年生と顔合わせをしてから、常に「聞き手」を意識してブックトークに取り組むことができた。小学4年生が練習してきた落語を聞いたあとに、自分たちでも同じ落語を読ませた。すると、生徒は落語のおもしろさや軽妙に話すことの難しさを実感したようで、自分たちの発表をよりよいものにしていこうという姿勢を見せていた。小中連携をおこなったことで、中学生は小学生から学ぶことができた。
- ・高根台中の国語科では、1年生は班で決めたテーマに沿って一人一冊を紹介するブックトーク、2年生は一人三冊のブックトーク、3年生ではビブリオバトルを系統立てておこなっている。これまでの流れをくみ、公開授業では、中学1年生が小学4年生に向けて古典をテーマにしたブックトークをおこなった。

◎課題

- ・公開授業を参観していただいた先生方から、本の紹介にとどまっているという感想をいただいた。聞き手に「読んでみたい」と思わせるブックトークをするには、紹介者がその本のよさを熟知している必要がある。よさを伝えられる表現力も不可欠である。自分たちに必要な情報を読みとる能力や、効果的に話す能力を、ブックトークを通して培うような授業を研究し続けていきたい。

<高根台第二小学校>

(1) 学校図書館の活用に関する校内体制

3-(1) 学校図書館司書の効果的な活用による学校図書館の活動の活性化の目標

- ①本市で行っている全小・中学校の学校図書館での総貸出冊数を伸ばそうとする「めざせ!!〇〇万冊」の取組を軸に、各学校段階における読書活動の推進を強化する。
- ②各教科を横断的に捉えた学校図書館運営計画を作成し、各教科において学校図書館を活用した授業を実践することで、カリキュラム・マネジメントの視点に立った学校教育目標の具現化を図る。
- ④授業での成果物を展示したり単元に関連する特設コーナーを設置したりして学校図書館の環境を整備し、児童生徒の学校図書館の利用率を上げる。

◎成果

- ・全校で朝読書に取り組み、児童が読書に親しむ時間を確保したことで、読書量が増え、本への興味関心を高めることができた。
- ・児童の学校図書館の利用率を上げるために、教職員のおすすめの本を紹介するポスターの作成等、学校図書館の環境整備に取り組んだ。また学校図書館のディスプレイは、特別支援学級の児童が作成し、児童による学校図書館の明るい環境作りを進めた。
- ・担任と学校司書・市立図書館との連携を強化し、学校図書館を利活用した教科横断的な授業実践に取り組んだ。年度初めに各教科における学校図書館の利活用計画を作成したことで、様々な教科で学校図書館を利活用することができた。

《6 学年 家庭科》



《各学年の主な教科と単元名》

学年	教科と単元名
1 学年	<ul style="list-style-type: none"> ・「おしゃれなきょうりゅう」(図画工作科) ・「はなややさいをそだてよう」(生活科) ・「エリック・カールの絵本を読もう」(外国語活動)
2 学年	<ul style="list-style-type: none"> ・「いきもの はっけん!」(図画工作科) ・「花ややさいをそだてよう」(生活科)
3 学年	<ul style="list-style-type: none"> ・「こん虫を調べよう」(理科) ・「船橋市の様子」(社会科)

4 学年	<ul style="list-style-type: none"> ・「動物のからだのつくり」(理科) ・「清掃工場の仕事」(社会科) ・「折れ線グラフ」(算数科)
5 学年	<ul style="list-style-type: none"> ・「国土の地形と特色」(社会科) ・「お米博士になろう」(総合的な学習の時間)
6 学年	<ul style="list-style-type: none"> ・「クリーン大作戦」(家庭科) ・「貴族のくらし」(社会科) ・「修学旅行に行きましょう」(総合的な学習の時間)
特別支援学級	<ul style="list-style-type: none"> ・「魚へんカルタを作ろう」(書写)

(2) 学校図書館司書の役割・機能

3-(1) 学校図書館司書の効果的な活用による学校図書館の活動の活性化の目標

④授業での成果物を展示したり単元に関連する特設コーナーを設置したりして学校図書館の環境を整備し、児童生徒の学校図書館の利用率を上げる。

◎課題

- ・学習で活用したい図書をより多く揃えるために、市内の図書物流システムを活用しているが、学校でも学校図書館の新刊購入の際に、年間計画に基づいて計画的に図書の充実を図っていきたい。

(3) 学校図書館司書が有する資格・経験、資質・能力

3-(1) 学校図書館司書の効果的な活用による学校図書館の活動の活性化の目標

③司書教諭と学校司書との連携を強化し、学校図書館を活用した授業を構築する。

◎課題

- ・本校の児童の読書量には個人差がある。また児童がよく読む本のジャンルに偏りがあるので、学習の中でより多くの分類の本に触れ、本の魅力を伝えられるような意図的な指導が必要である。

(4) 学校図書館の活動の活性化のための具体的な活動

3-(1) 学校図書館司書の効果的な活用による学校図書館の活動の活性化の目標

②各教科を横断的に捉えた学校図書館運営計画を作成し、各教科において学校図書館を活用した授業を実践することで、カリキュラム・マネジメントの視点に立った学校教育目標の具現化を図る。

③司書教諭と学校司書との連携を強化し、学校図書館を活用した授業を構築する。

◎成果

- ・小・中連携授業における中学生のブックトークを参考にして、4学年の児童はブックトークの学習に取り組むことができた。中学生のようなブックトークを目指して学習を進めることで、学習のゴールが明確になり、意欲的に取り組む姿が見られた。



◎課題

- ・今年度、各学年で取り組んだ学校図書館を利活用した授業実践を来年度に引き継ぎ、新学習指導要領に基づいて、より多くの教科・単元で効果的に学校図書館を利活用した授業が展開できるように校内研究を充実させる必要がある。